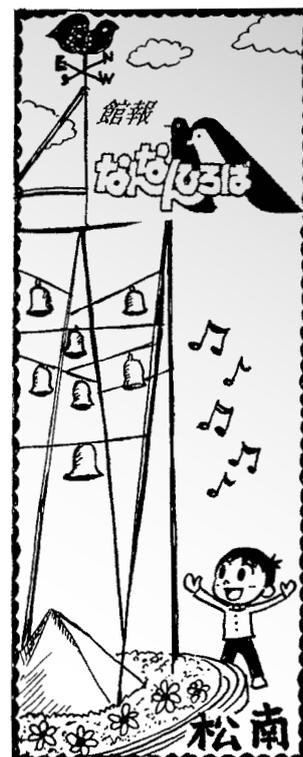


私は宮田町に生まれ、三信松本製作所の敷地内（今のイオンの北側辺り）にあった宮田保育園に通いました。なんなんひろばでお世話になる事になり、久しぶりに当時の様子を思い出しました。

昭和二十八・九年頃の事です。国道は井川の多賀神社の通りにあり、開明小学校の所は競輪場の跡地で、周囲は全て二メートル程の高い板張りの塀が張り巡らされています。また、家の南方には野溝の森が直接見え、電線をゆらす風の音や南松本の駅の方からは汽笛がよく聞こえます。



気軽に集い意義ある公民館活動に...



松南地区公民館長 浦澤 和利

た。当時から六十年程経ったとはいえ、松南地区の変貌には感慨深いものがあります。

近頃の社会情勢に目を向けると「若者世代の減少と年金や介護等の問題」「地震や火事はどう対処するかという防災問題」「働く事と子育てや躰・教育等の問題」「環境や安心・安全等に関する問題」「運動と健康の問題」等々・様々な課題が山積しています。

また、四月十四日に起きた熊本地震は、大分にも範囲を広げ、なお地震が続いている状態です。被災し、避難所で過ごしている方々の様子がテレビに映されています。もし五年前の地震が熊本の様な震度であったら、なんなんひろばや体育館は避難所になっていたでしょう。今回の地震を他人事とせず、いざという時の防災対策を地域として

も更に考え、備えていかねばなりません。

松南地区公民館の館長として一ヶ月が経とうとしていますが、今まで地域の方と関わる機会が少なかったため、どんな事をどうしていったらよいか・・・？手探りの状態です。

公民館は、地域の皆さんが気軽に利用し、人と人との輪を広げ、よりよい人間関係を自主的に築いていくためのものです。そして、住みやすい地域づくりに繋げていくものであると思います。

日々の生活の中で少しでも多くの人が公民館を活用し、「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」「教育や子育ての環境づくり」「防災への対応づくり」等々に役立ててもらえる様にしたいと思っています。

また、鈴木主事と地区内の皆様と喜んでいただける様な意義ある講座も企画していきたいと思っています。どうか宜しくお願いいたします。

平成 28 年度 町会長役職名簿

協議会名	役職名	氏名	町会名
地区町会連合会	(常任理事)	会 長	川 窪 忠 男 宮 田 西
	(理 事)	副 会 長	中 田 清 和 南 松 1
		会 計	矢ヶ崎幸一 芳 野
なんぶ未来まつり実行委員会		実行委員長	中 山 昭 双 葉
		事務局 長	中 田 清 和 南 松 1
		会 計	矢ヶ崎幸一 芳 野
地区社会福祉協議会		支 会 長	川 窪 忠 男 宮 田 西
		副支会長兼事務局長	中 山 昭 双 葉

協議会名	役職名	氏名	町会名
松南地区福祉ひろば推進協議会	会 長	中 田 清 和	南 松 1
松南地区防災会	会 長	中 野 豊	双 葉 西
松南地区体育協会	会 長	伊 藤 保 男	宮 田 東
松南地区環境衛生協議会	会 長	犬 塚 義 浩	南 松 2
松南地区子ども会育成会	会 長	川 井 洋 司	宮 田 中
緑を広げる会 (松本市緑化推進協議会)	会 長	渡 邊 元 秀	双 葉 南
街を花いっぱいにする会	会 長	渡 邊 元 秀	双 葉 南
	常 任 理 事	川 窪 忠 男	宮 田 西
明るい選挙推進委員会	代 議 員	中 田 清 和	南 松 1

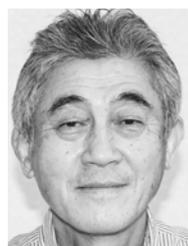
平成 28 年度 松南地区町内公民館長

町会	氏名	町会	氏名
南松本 1 丁目	中 田 清 和	宮 田 東	松 沢 啓 二
南松本 2 丁目	中 島 久 よ	宮 田 西	原 田 次 雄
芳 野 町	百 瀬 壽	双 葉 南	齋 藤 東 一
双 葉 町	白 澤 幸 男	双 葉 西	富 村 恵 司
宮 田 中	座 光 寺 崇		

平成 28 年度 松南地区館報編集委員

町会	氏名	町会	氏名
南松本 1 丁目	中 田 清 和	宮 田 東	松 沢 啓 二
南松本 2 丁目	志 賀 幸 子	宮 田 西	塩 原 保 彦
芳 野 町	百 瀬 壽	宮 田 西	高 橋 愛 子
双 葉 町	白 澤 幸 男	双 葉 南	伊 藤 和 彦
宮 田 中	田 中 紀 彦	双 葉 西	山 本 律 子

よろしく
お願いします



新双葉町会町会長
中山 昭

四年間の副会長を経ての就任。豊かな情報を活かした企画力と緻密な行動力で信頼の厚い実力者だ。松南地区でも周知の人材で、早々「未来まつり」実行委員長に就任。カラオケ名人だが、似顔絵師の顔ももつ多彩な人物だ。

(編集委員 白澤幸男)



新宮田東町会長
伊藤 保男

宮田東町会の新任町会長、伊藤保男さんを紹介いたします。

今は「松本山雅」の応援に熱くなっている伊藤さんですが、自身も、若い頃よりオーラマイティーなスポーツマンであり、スポーツを通じて培った強い精神とパワーの持ち主です。

(編集委員 松沢啓二)



新双葉西町会長
中野 豊

私が双葉西町会の住人になったのは、昭和六十三年でした。県営住宅のため、毎年五人から六人の住民が入れ替わっています。

若い世代、先輩世代の協調が大切だと感じています。松南地区九町会と足並みをそろえ、町会の皆さんの面倒を見れる世話役に徹したいと思えます。

皆さんの温かいご理解を賜りますようお願いいたします。

宜しく
お願いします

●新町内公民館長

- 南松本二丁目 中島 久よ
- 双葉町 白澤 幸男
- 宮田中 座光寺 崇
- 宮田東 松沢 啓二
- 宮田西 原田 次雄
- 双葉西 富村 恵司

●新館報編集委員

- 双葉町 白澤 幸男
- 宮田東 松沢 啓二
- 双葉西 山本 律子

なんなんひろばから

なんなんひろばは、松南地区公民館、南部図書館、勤労青少年ホーム、南部体育館の複合施設ですが、新任となった職員を紹介します。

●松南地区公民館

- 館長 浦澤 和利
- 臨時 洞澤 悠香

●勤労青少年ホーム

- 所長 百瀬 房継
- 主事 宮井 博樹
- 嘱託 倉科奈津枝
- 嘱託 當銀 郁弥

●南部図書館

- 主査 上田 美幸
- 嘱託 上條 香代
- 嘱託 小林 大
- 臨時 丸山 里葉



コラム松南

退任館報編集委員の
方々より

館報編集委員として「人シリーズ」の取材、「我が町のお宝」「コラム松南」他、中身の濃い記事を心掛け奮闘した六年間でした。

その間、委員長はじめ良きメンバーに恵まれ、毎月の委員会も統率のとれたものでした。「居酒屋かんぼう」での暑気払いやマツタケ料理を囲んだの懇親会も忘れられません。地区掘り起しの一翼を担う当メンバーの益々のご健勝とご活躍を祈ります。

双葉町会 小林 智博

二年間の館報編集委員を終えて「ほっとした」というのが本音です。私は文章を書くことが苦手で、プレッシャーを感じていました。しかし、私の未熟な文章でも地区館長はじめ編集委員の皆さんのご協力で、館報の欄を埋める事が出来ました。

編集委員を引き受ける前は、館報に目を通す事も少なかったのですが、編集委員のみな

さんのご苦勞がわかりました。これからは必ず拝読させていただきます。

ご協力いただいた編集委員のみなさん、町会のみなさん、ありがとうございました。

宮田東町会 金子 幸治

地区の役員は初めてだったので、多少の不安はありましたが、編集委員として四年間参加することができました。ただ、団地の町会なので記事にするようなことがあまりなく、町会の記事としては一回だけだったと思います。編集委員を通して地区の記事づくりや郊外学習なども参加でき、他町会の方との交流も大切なことだと感じました。

これからは、一読者として「館報」を楽しみにしたいと思います。

双葉西町会 増田 薫子

